

平成28年度第8回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成28年11月21日（月） 午前10時
場 所 教育委員会 第一会議室

<教育長あいさつ>

いつもご支援いただきありがとうございます。この会議が出来るだけ風通し良く、型どおりにならないようにとの考えで、あいさつの中で、出来るだけ多くのことをお話しさせていただきます。

市町村教育委員会大会議案については国、県に対して要望活動することにしていきます。先日、5つの案件処理についての会合がありました。①特別支援教育の充実についてです。特別支援学級の1クラスの定員は8名となっていますが、県では6名としており大変ありがたい状況です。しかし、状態の違う6名ですと手が掛かるため、4名にして充実してほしいとの考えです。②次期学習指導要領対応の充実についてです。今年度中に学習指導要領の答申が出される予定です。特に英語教育について出されるようですので、人員の手当等を充実してほしいとの考えです。③複式教育の充実に向けてです。本市でも来年度から実施校がありますが、学年によっては教科が詳しく分かれている現状があり、複式として難しい面が出てくるため、人的増員による充実を要望したい。④チーム学校を推進するための支援についてです。チーム学校として取り組む場合に教育相談員や英語指導員など、人員の手当等を充実してほしいとの考えです。⑤貧困に対応した支援についてです。例えば、現在国で検討している給付型奨学金制度など、貧困に対応した制度などを要望していきながら、子ども達へのより良い教育に向けて頑張っていきたい。

次に、「いじめ」についての1点目として、横浜での避難者へのいじめ事案をどう考えるかです。状況からすれば学校側の対応が遅いと言えるが、この事案を大きく捉えてみると、日本全体の大人の避難者への思いが薄れ、それが子どもに反映しているのではないかとの思いです。学校として大震災をどう捉え、子ども達にどう伝えていくのかが問われているのだと感じています。2点目に、天童のいじめの現状については、教育委員会にも何件か相談が寄せられています。その大半は保護者の不安に対する対応が十分でなかったことによるものです。学校対応の直しとして、教育委員会では当該学校に出向いて、不安が無いような対応改善に取り組んでいます。

市職員の採用試験や教員の管理職面接に関わる中で思ったことは、物事を掘り下げて考えているか、具体的に語る事ができているのかという点でした。物事に向かう姿勢を考え直してほしいと思いました。

県内で、教員による不祥事が報道されています。一般的な勤務ということではなく、子どもを大勢預かって教育するという、いわば特命を受けているんだという厳しい覚悟が不足しているのではないかと思います。自らも肝に銘じて今後活かせるよう取り組んでいきたい。

< 議 事 >

議第19号 平成28年度教育委員会所管12月補正予算（第4号）について
＜可決する＞

審議経過

質疑なし

教育長：議事は以上です。委員の皆様から何かありませんか。無いようですので議事を終了します。

< 報 告 >

・放課後児童クラブと小学校の連携の推進について（教育総務課）

教育長：他には無いようですので、第8回教育委員会会議を終了します。